学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年	3年次	単位数	3単位
教科書	東京書籍	日本史探究	副教材			なし	
レポート 添削指導	9通	スクーリング 面接指導	3回	メディア 視聴票	2通	試験	2回
指導 日	<p>①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解できるように、資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に取りとめる技能を身に付けさせること。</p> <p>②我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決策を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して認識される日本国史としての自覚、我が国の歴史に対する自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての意義などを求める。</p>						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	メディア(NHK高校講座)	面接 回数	
1	4月12日	5月8日	・先史社会の生活と文化 ・古代社会の形成と展開	○旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成と関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現する。 ○古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	1 旧石器時代から弥生時代へ、何が変わったのだろうか？ 2 弥生時代になり、何が変わったのだろうか？ 3 なぜ弥生文化が広がったのだろうか？ 4 古代の人たちはどんな生活を送っていたのだろうか？ 5 弥生時代からどのような時代になったのだろうか？		
2	5月8日	5月22日	・平城京と天平文化 ・摂関政治と貴族文化	○主題を基に、「平城京と天平文化」に関わる課題について、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、奈良時代の政治と文化について理解する。 ○「貴族社会と摂関政治」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、藤原氏の台頭と武士の出現について理解する。	6 平安前期から中期にかけて政治や社会はどのように変化したのだろうか？ 7 古代の文化にはどのような特徴があったのだろうか？		
3	5月22日	6月5日	・中世社会の成立	○武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解する。 ○武家権力による日本社会の変容に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	8 戦前の戦国社会はどのような影響を与えたのだろうか？ 9 どういう理由で武士が権力を握るようになったのだろうか？ 10 鎌倉幕府はどのような幕府だったのだろうか？ 11 鎌倉幕府はどのように変化したのだろうか？ 12 鎌倉時代の社会はどのような変革を遂げたのだろうか？	2	
4	6月5日	6月19日	・武家支配の広がりや国際交流 ・室町時代の社会と経済活動	○中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	13 室町幕府はどのように成立したのだろうか？ 14 室町時代の社会はどのような特徴があったのだろうか？ 15 室町時代の外交や貿易はどのようなものだったのだろうか？ 16 室町時代の文化や経済はどのような特徴があったのだろうか？		
5	6月19日	7月4日	・近世社会の形成 ・近世社会の展開	○織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現する。 ○参勤交代と幕藩体制に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。	17 どういう理由で金閣が建てられたのだろうか？ 18 豊臣秀吉はどのような政治をおこなったのだろうか？		
6	7月4日	10月16日	・近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	○近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	19 江戸幕府はどのように人々を統治したのだろうか？ 20 江戸幕府による統治はどのように変化したのだろうか？		
7	10月16日	10月29日	・近代社会の幕明け ・近代社会の展開	○幕末から近代初期の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する間いを表現する。 ○近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	21 近世の産業と経済はどのように発展したのだろうか？ 22 近代中期、社会はどのように変化したのだろうか？ 23 江戸幕府は社会の変化はどのように対応したのだろうか？ 24 近代中期、幕府を倒した人々は何を成し遂げたのだろうか？ 25 江戸時代の文化はどのように発展したのだろうか？	1	
8	10月29日	11月13日	・両大戦開戦期の日本 ・第二次世界大戦と日本	○近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	26 列強の東アジア進出は日本にどのような影響をもたらしたのだろうか？ 27 江戸幕府はどのように滅び、明治維新はどのように実現したのだろうか？ 28 明治初期の改革は近世社会の発展をどのように促したのだろうか？ 29 なぜ自由民権運動が展開されたのだろうか？ 30 憲法制定は日本にとってどのような意義があったのだろうか？ 31 自由民権論争はどのように発展したのだろうか？ 32 日清戦争は日本と朝鮮にどのような影響をもたらしたのだろうか？ 33 両大戦開戦期の日本社会は、どのように変化したのだろうか？ 34 1900年代、人々は政治に何を求めたのだろうか？	1	
9	11月13日	11月27日	・占領と改革 ・国際社会への復帰と高度経済成長	○占領と日本国憲法の成立に関わる課題を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、占領下の政治と日本国憲法の成立について理解する。 ○「国際社会への復帰と対米協調」に関わる課題を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、日本の主権回復とその後の政治について理解する。	35 日本はどのように国際社会に組み込まれたのだろうか？ 36 大戦後の日本はどのような変革を遂げた。それらの変革はどのような結果をもたらしたのだろうか？ 37 日本社会はどのように変化したのだろうか？ 38 第二次世界大戦後、日本は何を求め、その結果どうなったのだろうか？ 39 占領と改革は人々の生活や社会にどのような影響をもたらしたのだろうか？ 40 高度経済成長の背景や影響はどのようなものがあったのだろうか？ 41 経済大国となった日本は国際社会とどのような関係を築こうとしたのだろうか？ 42 冷戦後の国際社会の動向は、日本にどのような影響を及ぼしたのだろうか？		
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】							
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。							
○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。							
【思考力・判断力・表現力】							
○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決策を視野に入れて構想している。							
○考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。							
【主体的に学習に取り組む態度】							
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。							
○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。							
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に該当された単位数の修得を認める。							